

ガバナーメッセージ

12月は『疾病予防と治療月間』

国際ロータリー第2590地区ガバナー 小倉 正



2021-22年度がスタートして今月末で前半の6ヵ月が終了します。

ガバナー公式訪問は、吉田直前ガバナーの所属する神奈川県東ロータリークラブからスタートし、途中神奈川県緊急事態宣言の延長に伴う代替方式の公式訪問を経て、10月から通常形式の公式訪問に戻り、11月中旬に全て終了いたしました。各クラブを訪問した際、会長、幹事、会員の皆様に暖かくお迎えいただき、大変お世話になりました事を心から感謝申し上げます。

公式訪問の際、第2590地区において、地区会員の減少が続く中、各クラブがどうこの問題に取り組んでいるか、各クラブの方針等についてご報告いただきました。そして、会員増強の問題に対するには、各クラブが、ロータリーの目的に沿った魅力あるクラブ創りによるさらなる基盤の充実と強化が必要であるとの共通認識を確認させていただきました。

去る10月22日の日本経済新聞の朝刊に、公共イメージとロータリーの認知度の向上を目的とした「地球の課題 今、解決へ若い力とーロータリークラブ」とした広告記事が掲載されました。そこには「ロータリーの目的と活動内容について、究極の目的は世界平和の実現です。そのために疾病予防と治療、青少年育成、地域社会の経済発展等ロータリーの7つの重点分野への奉仕活動を展開し、海外のロータリークラブと協力して幅広い分野でも支援しています。そして「世界を変える行動人」というスローガンのもと、自ら行動する責任があると考えております」と記されておりました。ロータリーは今後もこの様な発信を続けロータリーの認知度の向上を目指す必要があると思います。

さて、12月はロータリーの重点分野の一つである『疾病予防と治療月間』です。これは、地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め非伝染病とそれによる合併症を減らすための疾

病予防プログラム、地域社会の医療インフラ

の改善、疾病の蔓延を防止することを目的とした地域住民への教育と地域動員、疾病またはケガによって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための地区補助金・グローバル補助金を使った奨学金支援を強調する月間です。

日本のロータリーは海外のロータリークラブと協力して発展途上国への飲料水の供給や母子の健康等幅広い分野で支援を行っていますが、この月間のコンセプトを理解していただき、私たちロータリアン一人一人が、自身の健康についても考えていただく月間にすることも大切であると思います。

今月5日より8日までシェカール・メータRI会長もバーチャル参加される2021-22年度国際ロータリーゾーン 1A、2 & 3の第50回ロータリー研究会が東京で開催されます。それが終わりますと年内の大きなイベントが終了します。

2021-22年度の第2590地区の活動に対して会員の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、2022年が会員の皆様にとって良い年になりますよう祈念いたします。



世界ポリオデー ウォークラリーに参加 (P4参照)